

関連資料

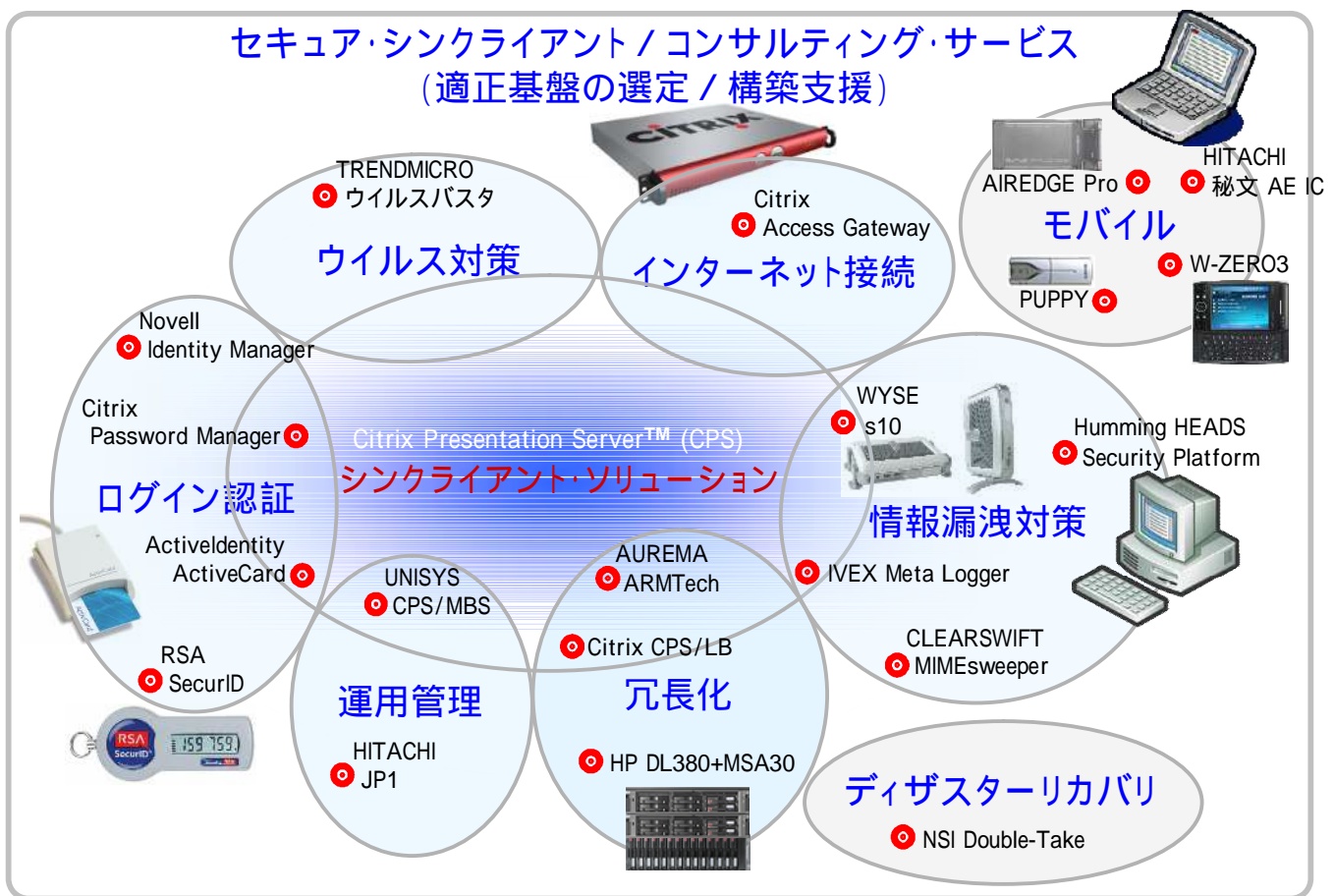
セキュアなオフィス環境を提供する

セキュア・シンククライアント



昨年4月に施行された「個人情報保護法」や今後施行される予定の「J-SOX法」に伴い、IT分野におけるセキュリティ対策や内部統制を実現するツールとしてシンククライアントへの期待が高まっています。「セキュア・シンククライアント」は、「シンククライアント・ソリューション」を基盤に、「セキュリティ・ソリューション」を組み合わせ動作保証することで、これまで実現することができなかった様々なセキュリティ問題について解決策を提供します。

セキュア・シンククライアント(フレームワーク)



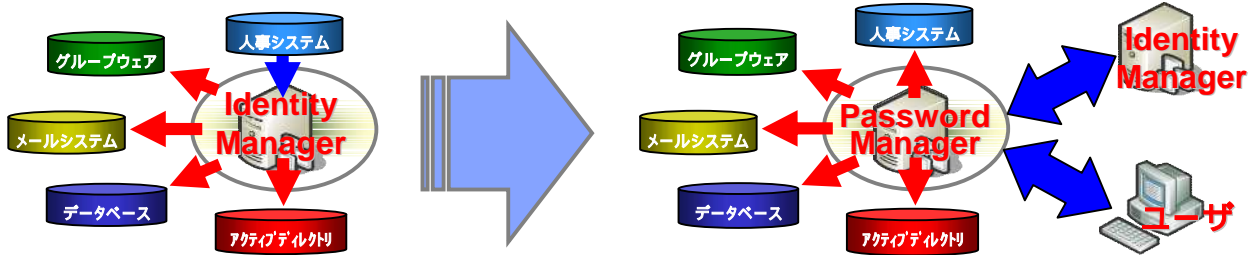
お客様のベネフィット

- データを拠点分散型からセンター集中型にすることで、**端末側のセキュリティを強化**
- **アカウント情報の一元管理**から業務へのシングルサインオンまでを連携
- CPS/MBSは**運用管理コストを1000分の1に軽減**
- 「シンククライアント環境における詳細なアクセスログの採取」、「メールによる情報の持ち出しを監視」といったオフィスにおける**情報漏洩対策を提供**
- ローコストファイルサーバで、**ディザスターリカバリを実現**
- ローカル環境との併用で、**実用的なモバイル環境を提供**

特徴 Identity ManagerとPassword Manager

～ アカウント情報の一元管理とシングルサインオンの連携～

社員の人事情報を登録するとIdentity Managerは関連業務のIDとパスワードを自動登録します。社員が、関連業務にログオンしようとする時、Password ManagerがIDとパスワードを代理入力し、シングルサインオンを実現します。

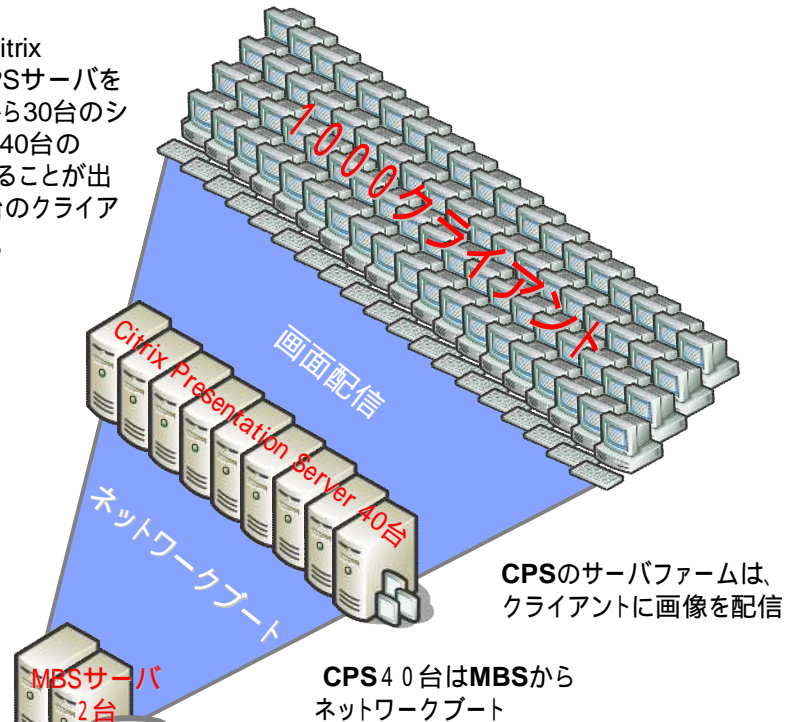


特徴 マルチサーバ・ブート・システム(CPS/MBS)

マルチサーバ・ブート・システム(MBS)は、1台のCitrix Presentation Server(CPS)サーバから40台のCPSサーバをブートすることが出来ます。CPSサーバ1台で25から30台のシンクライアントをサポートすることができますので、40台のCPSサーバは1000台のシンクライアントを利用することが出来ます。したがって、1台のCPSサーバから1000台のクライアントを導入/管理することが出来るようになります。

メリット

- 導入期間の短縮 / ローコスト化
- 管理コストの大幅な削減
- HW障害時の入替えが容易
- SW障害時の対応が迅速
出来上がったイメージファイルをリリース毎に管理することでロールバックが容易
- ブートイメージをMBSに置くことで、SWの改ざんを防止



1台のテスト機にOSとAPを導入し動作確認



動作が正常なら、MBSサーバにイメージファイル(OS、AP)をアップロード



記載の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。